

～熊本地震から4年～

未曾有の災害からの復旧・復興への歩み



町内全域が大きな被害を受けた熊本地震から4年が経過しました。町では、熊本地震および集中豪雨で被害を受けた道路や河川、農地などの復旧・復興に取り組んできました。

今月号では、被災から現在に至るまでの流れを振り返るとともに、これまでの復旧状況や震災からの創造的復興を目指す町の取り組みについてご紹介します。

■道路や河川の災害復旧工事のしゅん工率は99・2割

町が管理する道路や河川などの公共土木施設で、国の災害査定を受けた総件数は241件となっています。

平成31年3月時点での発注率は92・5割、しゅん工率は74・7割でしたが、令和2年3月時点での発注率は100割、しゅん工率は99・2割となっています。

町道・橋梁の復旧工事はすべて完了しており、通行規制も完全に解除されています。河川の復旧については、残り1河川2カ所を残すのみとなりました。

■農業用施設と農地の復旧工事しゅん工率は共に100割に

熊本地震および集中豪雨災害による国の災害査定を受けた農地や農道、林道など、農林業での総件数は、208件となっています。

うち農業関係が162件で、平成31年3月時点での発注率は100割、しゅん工率は77・7割でしたが、令和2年3月時点でのしゅん工率は農業用施設と農地共に100割となり、復旧が完了しました。

林道災害については46件で、平成31年3月時点での発注率は82・6割、しゅん工率は60・9割でしたが、令和2年3月時点での発注

被災からの流れ

- 平成28年4月14日（木）午後9時26分前震発生
- 震災直後に災害対策本部設立
- 指定避難所10カ所を開設
- 同15日（金）中甲橋クリーンパークで災害ごみの受入れ開始
- 同16日（土）午前1時25分本震発生
- 午後4時50分町内全域に避難勧告を発令
- 同21日（火）町生涯学習センターに総合案内窓口を設置
- 同27日（水）上水道全面復旧
- 5月1日（日）支援制度受付用仮設プレハブを庁舎南側に設置
- 同15日（日）白旗仮設団地90戸への入居者募集を開始
- 同16日（月）り災証明書の発行および各種支援制度の受付開始
- 6月5日（日）白旗仮設団地90戸への入居開始
- 同14日（火）熊本地震によるすべての避難所を閉鎖
- 同20日（月）～21日（火）九州豪雨災害発生、指定避難所5カ所を開設
- 7月6日（水）九州豪雨によるすべての避難所を閉鎖
- 同27日（水）県内で最初に公費解体を開始
- 8月23日（火）第1回甲佐町震災復興計画策定委員会を開催

創生を見据えた 活気あふれる町へ



甲佐町長 奥名克美

熊本地震から4年にあたり、改めて被災された町民の皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

町では、被災直後にご尽力いただいたボランティアなどの皆様の姿を今でも思い返しなが、県内で先駆けて策定した「震災復興計画」に基づき、未曾有の震災からの復旧復興にまい進してきました。これまで取り組んできた道路や橋梁、農地などの災害復旧がほぼ完了するとともに、町の創造的復興のシンボルとなる「住まいの復興拠点施設」や「熊本甲佐総合運動公園」サッカー場も昨年完成し、震災前にはなかった活気が生まれています。

計画の最終年度を迎え、町では、地方創生を見据えた復興の歩みを加速させているところです。震災をきっかけに取り組んできた、古民家を利活用した観光拠点施設の運用開始や総合運動公園テニスコートの完成も控えており、新たなにぎわいの創出のため、今後も職員の力を結集し、また議会の皆様のご理解をいただきながら、震災前以上に「甲佐町に住み続ける幸せ」を感じて頂けるような創造的復興に力を注いでまいります。

いまだ仮設住宅での不自由な生活が続いておられる方々を含めた、すべての町民の皆様のご健康を願いつつ、ごあいさつとさせていただきます。

災害復旧状況一覧

内容	被災状況	復旧状況
公共土木施設	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 241件 【内訳】 ●町道 85路線 192カ所 ●河川 23河川 48カ所 ●橋梁 1橋梁 1カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ●町道 85路線192カ所 発注率100%、しゅん工率100% ●河川 23河川48カ所 発注率100%、しゅん工率95.8% ●橋梁 1橋梁1カ所 発注率100%、しゅん工率100%
農業施設 農地	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 農地99件、農業用施設63件 【内訳】 田77件、畑22件、ため池3件、水路29件、揚水機1件、農道29件、橋梁1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●農地 99件 発注率100%、しゅん工率100% ●農業用施設 63件 発注率100%、しゅん工率100%
林道	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 7路線46カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ●林道 7路線46カ所 発注率100%、しゅん工率82.6%

※令和2年3月末現在

※発注率、しゅん工率は査定箇所数に対する数値

率
が100%、しゅん工率が82.6%となつています。
●震災からの復旧と創造的復興を目指す取り組みについて

町の早期復興を目指し、「町震災復興計画」に基づき平成30年度までの3年間で復旧に早急に取り組んできました。令和2年度は同計画において最終年度となることから、本町の創造的な復興を目指し取り組みを進めていきます。

公共土木施設については、3月末現在、目野川の護岸工事2件が未完了となつていますが、どちらも早期完成を目指して工事を進めているところです。

農業関係については、令和元年度中にすべての工事が完了し、林道の復旧工事も本坂谷線と倉倉線

を残すのみとなりました。

また、昨年11月に役場東側に完成した「住まいの復興拠点施設」は、甲佐地区災害公営住宅30戸と甲佐町子育て支援住宅20戸、都市防災公園を一体で整備。移住定住や多世代交流につなげる「創造的復興」のシンボルとなっています。

●活力にあふれる元気なまちを目指して整備が進む総合運動公園

町では、安津橋一帯の緑川河川敷に、テニスコートや野球場、ソフトボール場などを備える熊本甲佐総合運動公園の整備を進めています。人工芝サッカー場に続き、天然芝サッカー場もこの春運用が開始されます。現在、テニスコート8面の整備も進んでおり、今年夏ごろの完成を目指しています。

- 9月16日(金) 町災害対策本部を復興対策本部へ移行
- 仮設住宅6団地全228戸建設完了
- 11月29日(火) 町震災復興計画を策定
- 平成29年3月21日(火) 乙女小学校での授業再開
- 平成30年4月10日(火) 災害公営住宅白旗団地安全祈願祭
- 同11日(水) 同乙女団地安全祈願祭
- 同18日(水) 同甲佐団地起工式
- 9月3日(月) 子育て支援住宅安全祈願祭
- 同4日(火) (公財) 日本サッカー協会との包括協定調印式
- 平成31年2月1日(金) 災害公営住宅乙女団地12戸、白旗団地10戸への入居開始
- 4月1日(月) 災害公営住宅甲佐団地30戸入居開始
- 同17日(水) 乙女高齢者福祉センター落成式
- 令和元年8月18日(日) 田口橋開通
- 9月1日(日) 子育て支援住宅への入居開始
- 10月19日(土) 熊本甲佐総合運動公園サッカー場一部供用開始
- 11月22日(金) 甲佐町住まいの復興拠点施設が完成